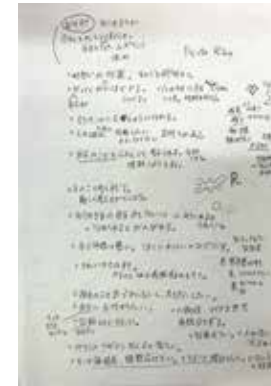


# 自分のロゴ制作

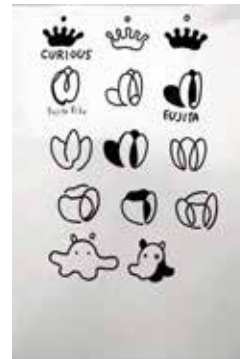
書き出す。

自分を表現すると言ってもなかなかパッと思いつけなかったため、自分のロゴを考えるときは、最初に自分の長所やアピールポイントをバツと紙に書き出してみた。書き出していく中で、自分は好奇心旺盛なところを一番アピールして表現したいと思った。



らくがき。

その後、なかなかデザインが思いつかないながらも手が動くままにザカザカ紙にらくがきした。そのらくがきしたものが面白い形に見えてきて、ロゴとして使おうと思った。らくがきしたものをイラレで作るのではなく、手描きのよさを活かしたいと思ってスキャンして取り込んでそこから形にしていった。



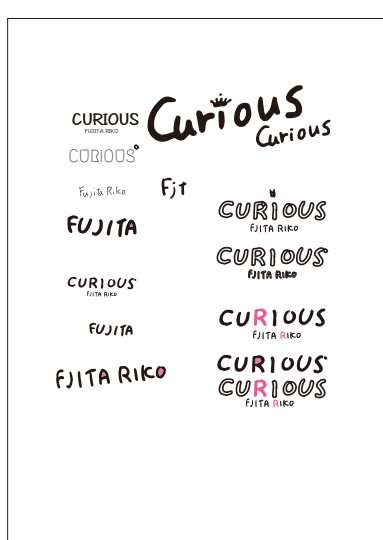
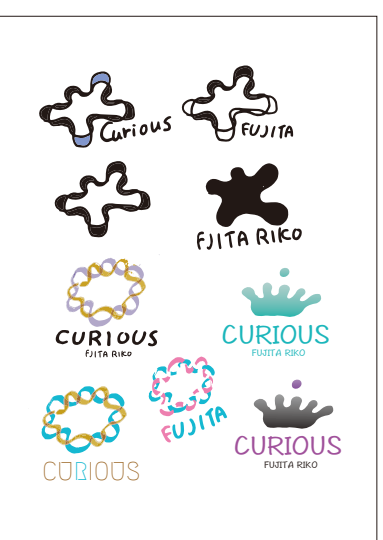
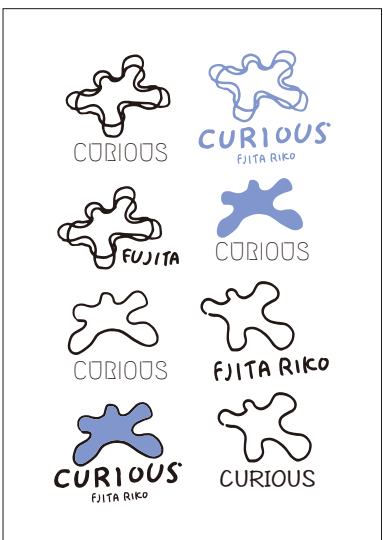
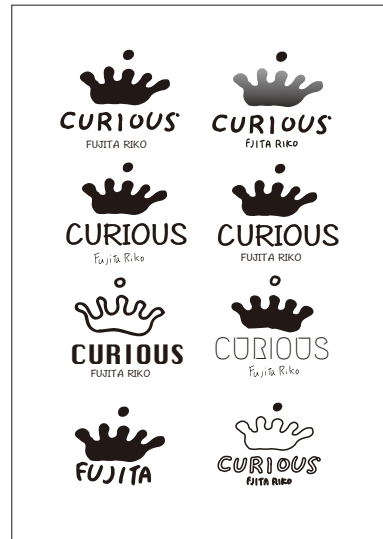
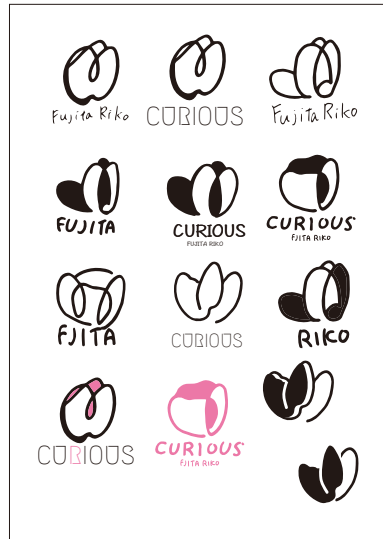
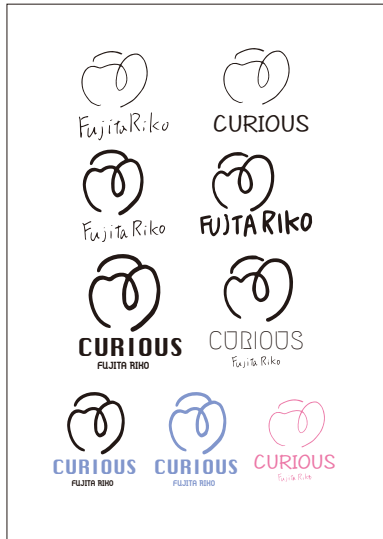
コンセプト

好奇心旺盛

Curious (キュリアス)

意味：好奇心旺盛、不思議な

好奇心を英語にしてみるとロゴでもスタイリッシュに活用できるかなと思った。



## とにかくたくさん作った！

作れるだけ思いついた物をどんどん形にしていった。  
色やフォントの組み合わせなどバリエーションを増やした。

### 色のコンセプト

ピンク 飽きっぽい、長続きしない。  
→花びらはやがて落ちる。  
儂い、さくらイメージ。

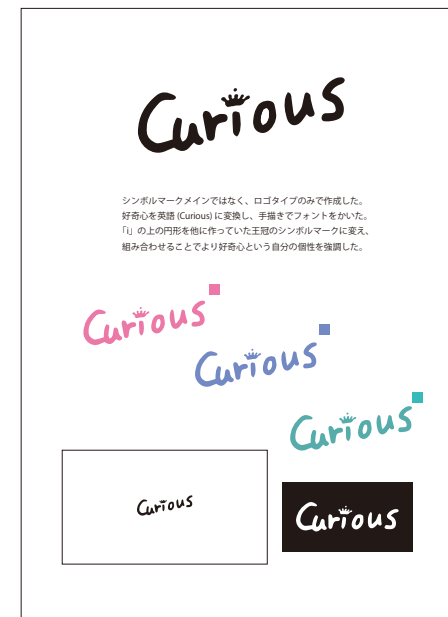
青 自分は海、空が好き。好きな色。知的なイメージ。  
(ターコイズ)グリーン ヒスイ色、宝石。好きな色。  
若葉、成長のイメージ。

# 最終的な 自分のロゴ

ロゴ制作の軸となるコンセプトを  
好奇心で一貫して作るように意識した。

クラスの皆さんや方々先生方、web科の方々にも  
見てもらって、意見やアドバイスをたくさん頂いた。  
人それぞれ好みや、意見が様々でいい刺激になった。  
皆さんの意見も参考にしつつ、その上で自分が特に  
気に入ったものを現段階では五つに絞った。

どれも気に入っていたから、とても悩んだ。



# 自分広告の制作

書き出す。

自分のロゴと同じように、自分のアピールポイントや伝えたいことをとにかく紙に書き出した。書き出していく中で、やっぱり自分は好奇心旺盛なところを一番アピールしたいし、伝えたいことだと思った。



## ボディコピー

とても悩んだ。長すぎず、短くまとめたかった。先生からアドバイスを受けて、文字の大きさなども気をつけた。

コンセプト  
好奇心旺盛

## キャッチコピー

とても難しかったし、二つ考えるのがとても大変だった。

### 『知りたいことをもっと知りたい!』

この気持ちこそ、私を動かす原動力なんです。  
知らないことを知る楽しさ、よろこび、ワクワクする気持ち。  
この知りたいという気持ちを、意欲を、ぜひあなたの会社でも存分に活かしたいんです。



### 知りたいことをもっと知りたい!

この気持ちこそ、私を動かす原動力なんです。  
知らないことを知る楽しさ、よろこび、ワクワクする気持ち。  
そんな知りたいという気持ちを、意欲を、あなたの会社で存分に。

### 「知りたいことをもっと知りたい!」

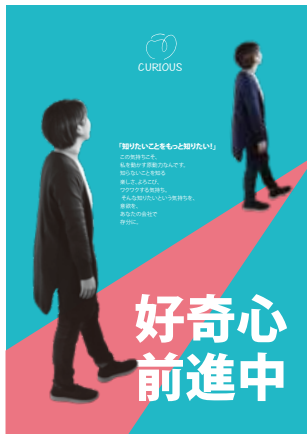
この気持ちこそ、私を動かす原動力なんです。  
知らないことを知る楽しさ、よろこび、ワクワクする気持ち。  
そんな知りたいという気持ちを、意欲を、あなたの会社で存分に。

## 好奇心前進中

興味・関心無限大!

「見つけた!」 発見!

「教えてください」



## 広告もたくさん作った！

作れるだけ思いついた物をロゴと同じく作っていった。  
文字やロゴの配置のバリエーションを増やしたが、色も  
もっとバリエーション増やせば良かったと思う。  
選んだロゴ五つを自分広告に配置すると、どういう印象に  
なるのかも試してみたら、また見方が違って面白かった。

最終的な

## 自分広告

広告制作のコンセプトもロゴと同じ、好奇心で一貫して作った。  
自分のロゴよりはたくさんバリエーション作れなかったけれど  
気に入るもののできたので良かった。  
いろいろ試しに他の案も時間があるときに作ってみたい。

キャッチコピー

# 好奇心 前進中

# わたし前進中



## 最後に

三ヶ月という短い期間だったけれど、この訓練校でデザインの楽しさを学べてほんとに良かったと思う。

今まで自信がなかったけれど、自信がついた。

一歩踏み出す勇気をもらえた。

自分に素直に向き合えた。

今、できることが増えた自分がいるのが何より嬉しい。

今の自分がいるのは、素敵な仲間と先生方がいたからだと思う。

ありがとう。

この三ヶ月は私にとってとても大切な宝物だから、大切に抱えて、  
またこれからもたくさんデザイン作っていきたい。

